

八戸市教育振興基本計画について

1 計画策定の趣旨

八戸市教育委員会では、「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」を教育の基本理念として、平成 15 年に八戸市の教育の指針である『八戸市教育プラン』を策定し、豊かでうるおいのある生涯学習社会の形成に向け、「生きる力」を身に付けた子どもの育成と、郷土を愛し、自立の精神と国際感覚に富む人材の育成を目指して、各種教育施策を展開してきました。

『八戸市教育プラン』の計画期間である 10 年間に、少子高齢化や家族形態の多様化の一層の進行、グローバル化の進展、経済状況の急激な変化など、教育を取り巻く環境は大きく変化しました。また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、当市においても計り知れない影響を及ぼしています。

このような変化や課題に対応し、子どもたちが豊かな人生を歩んでいくための教育の充実と、あらゆる世代が活力を発揮することができる社会を目指すため、今後 5 年間の教育の方向性を示す『八戸市教育振興基本計画』を策定しました。

2 計画期間 平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間

3 計画の構成

本計画では、教育の方向性を示す基本計画と、具体的な施策・事業の内容を示した実施計画を一本化し、内容の簡素化と、基本計画と実施計画のつながりの明確化を図りました。

- はじめに
- 序章 計画策定にあたって
- 第 1 章 教育の基本理念と子ども像・市民像
- 第 2 章 教育の現状と課題
- 第 3 章 目指す教育の姿
- 第 4 章 五つの方向性に応じた目標と主な取組
- 第 5 章 計画の実施にあたって
- 付属資料

4 策定スケジュール

月日	策定作業の経過	内容
4/18	策定要領の制定	
4/25	4 月定例教育委員会	策定開始報告
5/21	5 月総務協議会	策定開始報告
5/29	第 1 回検討委員会	策定方針検討
6/1～6/20	教育振興基本計画審議会委員の公募	
6/30	第 2 回検討委員会	「教育の現状と課題」検討
7/18	第 1 回教育振興基本計画審議会	諮問・策定方針・ 「教育の現状と課題」審議
7/27	7 月定例教育委員会	第 1 回審議会審議内容報告
8/3	第 3 回検討委員会	計画【素案】作成
8/8	各課グループリーダー打合せ	「参考指標」「主な取組」検討
8/21	第 2 回教育振興基本計画審議会	計画【素案】審議
8/30	第 4 回検討委員会	計画【素案】修正
8/31	8 月定例教育委員会	計画【素案】報告
9/20～10/3	審議会委員に計画【修正案】送付、意見聴取	
9/26	9 月定例教育委員会	計画【修正案】報告
10/17	事務局・教育指導課打合せ	「教育を取り巻く環境の変化」修正
10/29～11/6	計画【一次案】について市民からの意見募集	
10/30	10 月定例教育委員会	計画【一次案】報告
11/7	第 3 回教育振興基本計画審議会	計画【一次案】審議
11/20	各課担当者打合せ	「主な取組」「実施計画」修正
11/28	11 月定例教育委員会	計画【二次案】報告
11/30	第 5 回検討委員会	計画【二次案】検討
12/12～12/19	審議会委員に計画【二次案】送付、意見聴取	
12/25	第 4 回教育振興基本計画審議会	計画【最終案】審議・答申
12/26	12 月定例教育委員会	計画【最終案】報告
1/29	1 月定例教育委員会	議案提出

教育振興基本計画【最終案】 修正一覧

平成25年1月29日
1月定例教育委員会
教育総務課

※意見者欄の(審)は教育振興基本計画審議会委員、(教)は教育委員

No.	ページ	章	章名	項目	意見者	意見内容	修正内容
1			全体		岡本委員長 (教)	「様々」「さまざま」の表記が不統一。	「さまざま」に統一した。
2			目次		小柴委員(教)	ページ番号が揃っていない。	ページ番号の右端を揃えた。
3	4	2	教育の現状と課題	冒頭の文章	岡本委員長 (教)	文章二段落目「挙げることのできた成果」の「挙げる」の使い方はこの場合正しいのか。	ひらがなの「あげる」に修正。
4	5			教育プランの成果と課題 II. 学社融合の推進	山内委員(審)	最下行に注釈があるが、タイトルに「※」をつけた方がいいのでは。	「II. 学社融合※の推進」とした。
5	6・14			教育プランの成果と課題 IV. 義務教育の充実 教育を取り巻く環境の変化 V. 東日本大震災の影響	山内委員(審)	学校の耐震化率について、平成24年度中に100%を達成するのであれば、「100%を達成します」ではなく「達成しました」としてもいいのでは。	意見のとおり修正。
6	8			教育プランの成果と課題 VII. 青少年の健全育成	岡本委員長 (教)	成果の三つ目「指導された人員」は「指導された人数」では。	指摘のとおり修正。
7				教育プランの成果と課題 VIII. 文化遺産の保存・活用	山内委員(審)	成果の二つ目の○「子どもが気軽に歴史や文化に親しめる機会の充実を図る」という文章に違和感がある。	「いつでも子どもが気軽に歴史や文化に親しむことができるよう努める」に修正。
8	11			教育を取り巻く環境の変化 II. 経済状況の悪化	目会長(審)	タイトルを経済状況の「悪化」→「急激な変化」としてもいいのでは。	タイトル、文章を「経済状況の急激な変化」に修正。(「はじめに」の文章も変更)
9					岡本委員長 (教)	二つ目の○「社会の先行きの不透明感」は、「社会の先行きに対する不透明感」では。	指摘のとおり修正。 また、「将来に夢がもてない」→「将来に夢をもつことができない」に修正。
10	12			教育を取り巻く環境の変化 III. ライフスタイルと価値観の多様化	岡本委員長 (教)	三つ目の○、「児童が10%台中盤」とあるが、「中盤」という漢字の使い方は正しいか。	「10%台中頃」とした。 ※「中盤」は物事の展開の中頃という意味
11		4	五つの方向性に 応じた目標と 主な取組	参考指標	小田委員(審)	目指す状態を表す文字が小さいのでは。	レイアウト上、変更しないこととする。

教育振興基本計画【最終案】 修正一覧

平成25年1月29日
1月定例教育委員会
教育総務課

※意見者欄の(審)は教育振興基本計画審議会委員、(教)は教育委員

No.	ページ	章	章名	項目	意見者	意見内容	修正内容
12	20	4	五つの方向性 に応じた目標と 主な取組	主な取組の体系	山内委員(審)	P20「主な取組の体系」では、取組名にかぎ括弧がついていない。(P43ではついている)	指摘のとおり修正。
13	27			取組4「地域密着型教育推進事業」	山内委員(審)	「豊かな育ち」という表現はどうか。育ちの良い・悪いを想起する。	地域密着型教育のねらいとして長く使われてきた文言であるため、修正しない。 (教育関係の表現としてよく使われている模様)
14	29			取組10学校飼育動物ネットワーク支援事業 (取組11いのちを育む教育アドバイザー事業)	山内委員(審)	一文が長く、読みにくい。区切った方がいいのでは。(「連携し、訪問し、行い」と続いている)	文章を二つに分け、一文目に「学校獣医師の任用」、二文目に「ふれあい指導」について記載。また、取組11も同様に、アドバイザーの任用と指導内容で文章を分けた。
15	30			関連取組3学校教育における男女共同参画の推進	事務局	市民連携課→市民連携推進課に修正。	
16	39・57			P39①の参考指標 P57②-3の参考指標	事務局	「是川縄文館・博物館・南郷歴史民俗資料館の入館者数」に史跡根城の広場を追加し、人数を62,467人→80,915人に修正	
17	56			取組62「青少年の地域活動の推進事業」	山内委員(審)	「養護学校」ではなく、「特別支援学校」では。また、「障がい」という言葉を使わない方がいいのでは。	「養護学校」→「特別支援学校」に修正。 特別支援教育に関する取組ではなく、子どもの状態を示す表現として、「障がい」はそのまま用いる。
18	59・60			「学校出前講座の開催」	事務局	児童科学館の活動について、文章・実施計画を追加。また、実施施設数が増えたため、文章を箇条書きに変更した。さらに、児童科学館の活動が入ることにより取組順を変更し、取組67「出前講座」、取組68「児童科学館」、取組69「科学の祭典」とした。	
19	64	付属資料	1. 八戸市教育委員会機構図	小柴委員(教)	機構図左上の「八戸市教育委員会」の委員数が一名足りないのではないか。また、委員長職務代行者の記載がない。	計画決定時点では、教育委員が1名欠員のままだと思われる。現状を記載しているため、委員数は修正しない。 委員長職務代行者については、「委員(委員長職務代行者)」と記載。	